

中心地域整備に関する調査特別委員会（第32回）

日 時 平成31年3月15日（金）

13:00～13:30

場 所 議会棟 議場

出席者 委員長、副委員長、委員9名（欠席：なし）（傍聴者：なし）

説明員 木下総務課長、実延企画課長、久城農林課長、島山室長

書 記 川上主任、岩崎事務局長

○山本委員長 ただいまより、第32回中心地域整備に関する調査特別委員会を開会いたします。平成27年6月26日にこの委員会を設置されて以来、任期最後の委員会となります。本日の報告・調査・協議事項といたしましては、道の駅運営状況について、中心地域整備に関する調査特別委員会報告書について予定をしておりますのでよろしくお願いたします。最初に、道の駅運営状況について報告をお願いいたします。島山室長。

○島山室長 そうしますと、道の駅にちなみ日野川の郷直売所におきます平成31年1月末までの売り上げ状況について、ご説明をさせていただきます。タブレット H31.03.15 道の駅資料（売上・客数等）をご覧ください。1月までの道の駅施設別、売上・客数・EVI実績一覧でございます。表示金額は税込みで記載させていただいております。表下段の来場者数につきましては、レジ通過数に係数を掛け、算定したものととなります。直売所売り上げでございます。1月末5,573万8,590円、昨年度同月比較120万3,401円の増となっております。続きましてレストランでございます。1月末時点1,851万1,925円となっております、昨年度同月比較285万1,123円の増となっております。続きまして、タブレット2ページ、3ページについて説明をさせていただきます。平成30年度、直売所売上げ管理表でございます。今年度より指定管理制度に移行しまして、指定管理料の算定を1,000万円の固定金額と、出荷者協議会登録者の売上額の15%を加算することとしておりますので、売上額について、出荷者協議会売上げ分、その他仕入れ売上げ分と分けて記載をさせていただいております。オレンジ色につきましては平成29年度実績、緑色につきましては平成30年度実績となっております。2ページにつきましては4月から10月までの実績、3

ページにつきましては11月以降の実績を記載しております。4月から1月末までの実績でございますが、出荷者協議会売上げ分が2,790万6,000円で全体の50%、仕入れ売上げ分が2,783万3,000円で50%となっております。売上げ順は、上位から菓子類、米、加工品、トマト、木工品の順となっております。続きまして、タブレット4ページをご覧ください。上段は先ほどご報告させていただきました直売所の売上・客数実績を、下段はレストランの売上げ・客数実績をそれぞれグラフ化したものがございます。平成28年度実績を青色、平成29年度実績をオレンジ、平成30年度実績を緑色で示しております。棒グラフは売上げを、折れ線グラフはレジ通過者を示しております。4月から1月の直売所の状況でございます。4月から7月までは、前委託業者からの引継ぎ等もありまして、間もなかったこともありましたが、8月、9月は28年度、29年度と比較しほぼ横ばい、10月以降は28年度、29年度実績を上回っておりまして、1月末時点の実績で、昨年度の売上げを120万円ほど上回っておるところでございます。おおよそ6,100万円程度の売上げになるのではないかと見込んでおります。続きまして、レストランでございます。4月、5月、7月は昨対を下回っておりますけれども、それ以外の月は好調に推移しております。1月末時点で平成28年度を約120万円、平成29年度を約280万円上回っております。今年度の売上げ見込みでございますけれども、2,080万円程度になるのではないかと想定されます。28年度、29年度実績を超えるものと見込んでおるところでございます。次年度につきましても、食のバザール、町政60周年記念イベントとの連携など、各種イベントの開催を予定しておりますので、道の駅と今後も随時連携を計りながら必要な支援を行っていきたいと考えております。簡単ではございますが、以上説明とさせていただきます。

○山本委員長　ただいま報告、説明をしていただきました。このことについて、質疑ございますか。大西委員。

○大西委員　前回の委員会の時にレストランの客数アプリについて、伝票方式が変わったということで、本当にそうなのかなという感じがありまして、一応データを取ってみようという話がありましたですけれども、実際に取られたでしょうか。

○山本委員長　島山室長。

○島山室長　前回の委員会におきまして、大西委員の方からご指摘いただきまして、2月1日から2月21日まで、取れる範囲でレジの方をお願いをして、レジ通過者に

対して来客者数を取っております。2月1日から21日まで、レジ通過者が665人、来客者数が1,457人ということになっておりまして、約2.1人ということになっております。これに来客者の係数で掛けております。2.3を掛けますと1,530人ということで、若干誤差がございます。ただ季節のことでありますとか、平日、休日によってこの割合がかなり違っておりますので、また春先、夏頃で取ってみたいなど思っております。あまりにも状況と乖離するようであれば、委員ご指摘のように係数を変えてみたいと検討しておるところでございます。

○山本委員長 久代委員。

○久代委員 30年度の実績は、まだ途中ですけれども大体わかりましたが、新年度予算の中で説明資料の30ページにある、道の駅の運営委託料の2,000万円と、施設点検等の委託料の577万7,000円ですか、合計2,577万7,000円が予算計上してあるわけですけれども、その委託料の説明がありましたけれども、基本的な考え方を改めて述べてください。よろしく申し上げます。

○山本委員長 島山室長。

○島山室長 今、手元に資料がないですが、2,000万円につきましては、先ほど説明させていただきました1,000万円の固定費と、15%の出荷者協議会売上げを1,000万円見込んで、2,000万円ということで金額を計上しております。残りにつきましては、道の駅の清掃の委託費でありますとか、器具の補修管理委託料ですとか、そういったものが計上してあります。

○山本委員長 久代委員。

○久代委員 31年度の売上げはもちろん分からないわけだけれども、出荷者協議会部分が約1,000万円に相当するということの確認でよろしいでしょうか。

○山本委員長 島山室長。

○島山室長 実際、実績がどうなるかは分かりませんが、一応1,000万円を見込んでおります。今年度、30年度実績でいきますと、おそらく今の想定でいきますと約500万円程度になろうかと想定しております。

○山本委員長 久城農林課長。

○久城農林課長 昨日、ちょうど出荷者協議会の総会がございました。その中で本年度の出荷者協議会の売上げについて、中間でありますけれども先ほど島山室長から報告があった数字で報告がございました。その傾向といたしまして(株)サクセスの方

から、次年度以降の運営方針についてご説明をいただきました。その中で客単価についてでありますけれども、平成 28 年が直売所の客単価が 1,577 円、平成 30 年がそれに比して 1,377 円。200 円落ちておるということです。それから一方レストランの方が、平成 28 年が 1,031 円、平成 30 年が 1,400 円という形で、逆にレストランはアップしておる。このあたりがどういうことであるのか、今後分析も行いたいということはございました。ただ一方で今後、新たな事業展開といたしまして、香川県三豊のふれあいパークという、新しく今度、(株)サクセスの方が指定管理者となられます道の駅、それから島根県大田市の仁摩の道の駅、ここらに向けて物流といいますか、日南町の具体的にいいますと米を中心にとということではございました。逆に先方からは、香川の方からはイイダコ、仁摩の方からはニギス、ということをおっしゃられました。いわゆる海産物と思えますけれども、物流を行いながら外販の方のアップにも努めていきたいというご説明をいただいたところでもあります。

○山本委員長　この委託料について関連の質問でございますか。別のものですか。分かりました。古都委員。

○古都委員　自分の不摂生で議会活動なり、議員活動に迷惑かけておること、大変に心苦しく思っております。その間に説明があったのか分かりませんが、あるいはそれ以前に説明があり私が聞きもらしているのか分かりませんが、1点確認をさせていただきます。当初道の駅が出来る時には、自動販売機を置かないと、その後赤十字がらみだということで1台置かれた経過は承知いたしておりますけれども、最近新たに自動販売機が設置してある、あるいは軒下に常設ではないかも分かりませんが店舗が出してあると思っており、これの経理は、自販機はどこに行くのか、その店舗の収益はどのように道の駅に反映されておるのか、あるいはその店舗は露店商なのか、施設内店舗なのか、そのことについて伺いをいたします。

○山本委員長　実延企画課長。

○実延企画課長　ご質問にありました、先の自動販売機の経過でございますけれども、当初の申し合わせでは置かないと、先の委託先とはそういった話で進めてきたわけでございますけれども、指定管理者の選定以降、共に相乗効果を目指すというところの配慮の上、置きたいという申し出があり、協議したところそれを認めたということで、今2台設置してあったと思います。そういう経過で今現在、運用しておるところでございます。

○山本委員長 久城農林課長。

○久城農林課長 あと軒先の店舗のことですけれども、あれらにつきましては、基本的には全て店の中の物を従業員のみなさんが販売しておられます。冬場ではおでんでありますとか、そういったような物をずっと販売しておられました。1つその中で出荷者協議会の皆さんと議論になりましたのが、ただその使用については経営者だけという形で線引きをされまして、そのあたりにつきましては出荷者協議会の方からも、出荷者協議会の方でもというような意見も出たような状況であります。今後そのあたりにつきましては、もう少し議論を深めていく必要はあろうかと思っております。

○山本委員長 店舗の収益についてということですが、これについては久城農林課長。

○久城農林課長 収益については、全部経営者側の収益になっております。

○山本委員長 古都委員。

○古都委員 レストラン部分でやるのか、それから特産品販売部分でやるのか。特産品販売部分でやる場合には、あの形態は調理になるのだらうと思っておりますけれども、資格を持ってやっておられるのかどうなのか。それも常設ではないというような内容でございまして、非常に利用者も誰がやっておられるか認識出来ないというのが実態だと思うのですが、そのあたりの整理について、どのようにお考えになっておるかお示しいただきたい。

○山本委員長 久城農林課長。

○久城農林課長 基本的には直売所側での経営というふうには認識しておりますけれども、資格関係につきましては、実際に出しておられる方が持っておられるという形ではないと思っておりますので、レストランの方のそういったような有資格者があるからという形で、保健所等々の許可は取ってあるものと思っております。

○山本委員長 その他、近藤委員。

○近藤委員 この道の駅も売上げが下げ止まりしているということで大変喜ばしいことと思っておりますけれども、この中において外部仕入れのパーセンテージが大変上がっております。これは事業者の考えで、いろいろ工夫して売上げをするための工夫の中で、こういう状況になっておると思っておりますけれども、その中において穀物というものの仕入れが大変伸びておるのが目につくわけでして、この日南町というのはこの米を売りに

しておる町でもありますけれど、それ以外にこういったものを仕入れてこの穀物販売に取り組んでおられるのか伺いたします。

○山本委員長 島山室長。

○島山室長 近藤委員からご質問があった穀物の仕入れでございます。ここで見ていただくと、穀物の仕入れがかなりの金額が入っていて、例えば今の1月末までで102万8,000円の穀物の仕入れがあります。この穀物の仕入れにつきましては、お米の仕入れではなくて、ここにそばだとか、小麦だとか、だんごの粉とか、そういったものも含まれておりますので、お米につきましては、ほぼ100%出荷者協議会からの分ということで承知しております。

○山本委員長 近藤委員。

○近藤委員 その中で、そば粉なのか分かりませんが、だんごの粉、これは加工品として仕入れておられるわけですか。

○山本委員長 島山室長。

○島山室長 そばやだんごの粉ですけど、こういったものは全て穀物として管理をされておるということで聞いております。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 昨年1月にですね、指定管理を決める時のプレゼンテーションをされた、その評価点まで出ておるのですけれども、その中で収支計画が3社のうちですばらしいと聞きまして、5ヶ年の中で3年ぐらいになれば、例えば指定管理料が0ぐらいの収支計画だったということですが、この1年目のこの10ヶ月の実績が出ました。1年を見た時にですね、当初の計画に対して、どのくらいの許容範囲になっているのか、町としてどう判断されているのか、お伺いしたいのですが。

○山本委員長 島山室長。

○島山室長 当初、新年度すぐに今年度の売上げ計画を作ってこられた時の金額が、30年度が7,500万円を見込んでいくということございまして、今、実際の平成30年度の見込みが6,000万円強ということですので、決して十分な数字であるというふうには認識しておりません。ただ1年目ということもあり、引継ぎ期間もない中で受けていただいたということもありまして、今後、来年、再来年と継続して頑張っていただけのもと思っておりますし、町としても出来る限りの支援をしていきたいと考えておるところでございます。

○山本委員長 久城農林課長。

○久城農林課長 これも、昨日ちょうど説明もございましたけれども、上半期、下半期という形で分けた時に、上半期につきましては対前年比を下回っております。逆に今度下半期になりましたら、120%ぐらいという形になっておりますので、今、島山室長が申しあげましたように、次年度に向けては数字だけ見た場合ということですが、好転の兆しはあるものと考えております。

○山本委員長 古都委員。

○古都委員 いま一度確認いたしますけれども、先ほどの説明では、レストランの方が有資格者がおるのではないかとお話がありました。あつてはならないことですが、食品でありますので万全を期さなければならないと思いますが、万が一の時にはレストランの方が責任を持たれる。私が見ておまして、通常あそこでお昼をいただきます時に、そういった方の職員の方とは違った方が何かしておられるような気がしておるのですが、その職員の方は直売所部分なのか、レストラン部分の職員なのか、あるいは第3者なのか、そのあたりはご確認出来ますでしょうか。

○山本委員長 久城農林課長。

○久城農林課長 そのあたりの細かい話になりますと、食品衛生管理法という形になろうかと思えます。実際には、一例ですみません、申し上げますと、隣の文化センターあたりも食品衛生管理者は指定管理者の代表になっておられて、実際にレストランの営業については、そういった資格を持たれない方が実際、今は閉鎖しておりますけれども、やっておられます。そういったことは往々にしてあることというふうには理解しております。何かそういったような有事の際には、実際にはその食品衛生管理法上の資格を持っておられる方が罰せられるということにはなると認識しております。

○山本委員長 古都委員。

○古都委員 当初の質問でお伺いした、回答をいただいておりますけれども、その文化センターであれば室内でありますのであり得ることだと思いますが、お尋ねしておるところは屋外でございます。屋外の場合には、露店商許可がいるのではないかと私は認識しておりますけれども、そこを聞いたのですけれどもお答えいただいておりますが、施設内という理解で、建物の中ではないわけですが、同じ考え方でやっておるということで、よろしいでしょうか。

○山本委員長 島山室長。

○島山室長 露店の資格があるはずでございますので、確認をしてお答えをさせていただきます。

○山本委員長 近藤委員。

○近藤委員 昨日、道の駅に久しぶりに行って見たのですが、外の方にテントを張って、模造紙でうどんとか何とか色々貼った状態であるわけですが、昨日の場合はそこで何も営業されていないという状況でしたけれど。そのテントというのは、常設のテントというか、ビニールの壁が仕切っているわけですが、あれは常設になっているわけですか。それともイベント用が残っておったわけですか。

○山本委員長 島山室長。

○島山室長 道の駅の外部通路の件だと思いますけれども、冬季間の休日をメインにあそこは営業されるということでございまして、やはり冬季間寒うございますので、あそこに透明の幕を張っておられますけれども、これから暖かくなればあれを外されるということで聞いております。

○山本委員長 その他ございますか。ないようでしたら、道の駅運営状況については以上で終了いたします。職員の皆さん、退席をしていただいて結構です。ありがとうございました。そうしますと続きまして、中心地域整備に関する調査特別委員会報告書についてということで、タブレットに資料を載せていただいております。朗読をさせていただきます。

中心地域整備に関する調査特別委員会報告書

本委員会の調査結果について、会議規則第77条の規定により報告する。

平成31年3月22日

中心地域整備に関する調査特別委員会

委員長 山本 芳昭

日南町議会議長 村上 正広 様

平成27年6月26日に設置された本委員会は、32回の委員会を開催し中心地域整備の在り方について鋭意調査を行ってきた。その調査について報告する。

1. 委員会の経過

第1回から第9回までは「道の駅にちなん日野川の郷」オープンに向けての準備について調査を行った。第10回から第16回までは平成28年4月22日にオープンした「道の

駅にちなん日野川の郷」の状況、また生山地区分譲住宅について調査を行った。第17回からは引き続き「道の駅にちなん日野川の郷」の経営状況に加え日南町体育館建築について調査を行い、第19回では島根県奥出雲町亀嵩小学校体育館・八川小学校屋内運動場の現地調査を行った。第24回からは民間活用住宅整備等事業についても調査を開始した。第29回からは日南プレカットに賃貸している町有地についても調査を行った。

尚、平成30年度からは「道の駅にちなん日野川の郷」は株式会社サクセスへ指定管理委託された為、平成29年度までのように月毎の運営状況調査は行っていない。

2. 調査結果及び課題

「道の駅にちなん日野川の郷」は直売所売上が減少するなど当初の目的達成は困難な状況にある。今後は指定管理者提案の「取り組み」が達成され賑わいのある道の駅となることを期待したい。

生山分譲地は8区画の内なお4区画が募集中であり、町営住宅や民間活用住宅などを含めた政策の検討が必要である。

日南プレカットに賃貸している町有地については2021年3月までに町へ返還されるよう本委員会として決議した。

中心地域整備は少子高齢化が急速に進む本町の将来に大きな役割を果たすものであり、健康増進施設や日南プレカットに賃貸している町有地の利活用など将来を見据えた整備計画が求められる。前増原町長が提唱されたコンパクトビレッジ構想と合わせ議会はもとより、全町民が参加した整備構想となるよう期待したい。

というような報告書を提出したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○山本委員長　　そういたしますと3月22日は、この報告書を本会議において報告をしたいと思いますので、よろしくお願いをしたいと思います。そうしますと、その他何かございますでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○山本委員長　　ないようでしたら、本議会は以上で終了いたします。お疲れ様でした。

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 年 月 日

委員長

副委員長